

## 令和2年度第3回国立大学法人埼玉大学経営協議会議事要録

日 時 令和2年11月12日（木）10:00～11:30

場 所 事務局第1会議室

出席者 坂井学長、重原理事、柳澤理事、西井理事、岡村理事、中村理事、  
内海委員、佐々木委員、利根委員、平本委員、山名委員

欠席者 小安委員、砂川委員

陪席者 山中監事、齋藤監事、田代副学長、川合副学長、川又副学長、  
木崎副学長、伊藤副学長、末松人文社会科学研究科長、野中教養学部長、  
禹経済学部長、薄井教育学部長、石井理学部長、水野工学部長

○ 坂井学長から、小安委員及び砂川委員が本会議を欠席する旨、報告があった。

○ 令和2年度第2回議事要録の確認について

令和2年度第2回国立大学法人埼玉大学経営協議会議事要録（案）の確認が行われ、  
了承された。

※各事項における意見等は次のとおり（☆学外委員、△学内委員等）

○ 報告事項

1 国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告について

坂井理事から、資料2に基づき、国立大学法人ガバナンス・コードの概要及び適合  
状況等の報告書作成・公表に係る作業内容についての説明があった。また、次回開催  
の経営協議会での審議に先立ち、各委員には事前意見照会に協力願いたい旨の依頼  
があった。

☆ 法人化による経営の観念と、教授会等による教学のウエイトのかけ方について、全  
学的に理解を深めた上で作業を進めてほしい。

△ 私立大学に比べて、国立大学の場合は経営と教学が一体化している傾向にあるた  
め、今後留意していきたい。

2 財務レポートについて

西井理事から、資料3に基づき、令和元事業年度の財務状況及び取組内容を中心と  
して作成した財務レポートについて報告があった。

3 埼玉大学インフラ長寿命化計画（個別施設計画）について

西井理事から、資料4に基づき、平成28年度に策定した「埼玉大学インフラ長寿命化計画（行動計画）」を踏まえ、個別施設毎の具体的な対応方針を定める「埼玉大学インフラ長寿命化計画（個別施設計画）」を策定した旨の報告があった。

#### 4 第4期中期目標・中期計画素案作成について

川又理事から、資料5に基づき、第4期中期目標・中期計画素案の作成スケジュール及び留意事項についての説明があった。

☆ ビジョンの実現のために中期目標・中期計画が作成することとなるため、既に策定済みの「社会の変革を見据えた新たな発展に向けた変革ビジョン」（以下「発展・変革ビジョン」）と、これから定める第4期中期目標・中期計画との関係性はどうか、また、どのような点に力点を置いて中期目標・中期計画を作成されるのかについて伺いたい。

△ 「発展・変革ビジョン」では、短期的に実施するものと中長期的に実施するもので整理している。短期的なものとしては来年度までの達成を目安とし、具体的な内容を詰めているところ。中長期的なものは第4期の一部に含まれるものとして、中期目標・中期計画を作成していくイメージである。

☆ ビジョンの根幹を成すものや基本的な精神を構成するものについては、中期目標・中期計画に具体的・積極的に活かしてほしい。

△ 今回の報告は実務的な部分についてのみの説明だが、第4期中期目標・中期計画素案の作成作業としては、まずビジョンを作成し、実現のための中期目標・中期計画を立て、年度毎の工程表を作るという手順で進めており、学長・理事とはビジョンについての意見交換を行っているところである。

#### ○ 審議事項

##### 1 国立大学法人埼玉大学役員報酬規則の一部改正について

西井理事から、資料6に基づき、学長の通勤手段として借上自動車を利用する場合の通勤手当の取扱いについて規定するための本規則の一部改正について説明があり、審議の結果、承認された。

##### 2 国立大学法人埼玉大学役員災害補償規則の制定について

西井理事から、資料7に基づき、役員が業務上又は通勤途上における事故による傷害等を被った場合の補償に関する規則の制定について説明があり、審議の結果、承認された。

##### 3 学内予算によるプロジェクト事業について

西井理事から、資料 8 に基づき、令和 2 年度学内予算によるプロジェクト事業として空調・設備機器の更新等を計画している旨説明があり、審議の結果、承認された。

#### 4 目的積立金の使用について

西井理事から、資料 9 に基づき、令和元年度末時点残額及び新規承認された令和元年度の目的積立金の使途として、全学共用設備更新・情報基盤整備等を計画している旨説明があり、審議の結果、承認された。

#### 5 土地の有効活用の検討について

西井理事から、資料 10 に基づき、民間事業者へ貸付予定である低利用土地の貸付期間終了後の活用計画として、学生宿舎及び国際交流会館の増築を予定している旨説明があり、審議の結果、承認された。

### ○ その他

#### 1 コロナ禍における学生の支援体制について

学外委員から、コロナ禍における学生支援体制についての質問があり、種々意見交換を行った。

☆ オンライン授業により身体的負担や気分の落ち込みを抱えている学生がいるという状況の中で、埼玉大学では相談体制を整備したと 9 月の経営協議会にて説明があったが、学生の利用状況について、また、相談に対しての解決の方向性が見出されているのかについて伺いたい。さらに、対面で行われている授業の割合についても伺いたい。

△ 現状では精神的な不調を来しているという学生の報告が例年に比べて極端に増えている訳では無いが、相談対応件数や内容についての詳細な情報を整理した上で、後日報告したい。対面授業の実施状況については 20%に届いておらず、部局によってバラツキがある。理系は実験があるため対面が多いが、文系は遠隔で対応が可能なため、全体としては 10 数%程度になっている。

☆ オンライン授業に関する満足度は 60～70%と言われており、あまり辛さを感じていない学生も多くいるのではないかと思うが、人材育成の観点からも、コロナ禍の後を担っていくこととなる学生のフォローをお願いしたい。

△ 全国の大学でもオンライン授業の満足度については意外と高い。学生が不満に思っているのは課外活動に関するものが多いため、学内での活動再開について早めに対応していきたい。また、部活動の種類によっては学外で感染対策に配慮しながら活動しているところもあり、ある程度は学生同士の繋がりが作られていると思われる。

☆ 秋田大学の調査では、リモートでの授業や大学に來れないという状況で鬱の傾向

にある学生は7.8%というデータが出ている。埼玉大学でもそういった調査は考えているのか、また、リモートでの授業と対面授業の並行実施などについても取り組んでいるのか。

△ リモートでの授業で一部分は対面で行うことなどは、部局では行われているかも知れないが、全学としての把握は行っていない。精神面での不調についての全学的なアンケートを実施する予定は今のところないが、今後検討していきたい。保健管理センターからは、精神面での相談状況について、例年よりも微増程度で、顕著に増えている状況ではないとの報告を受けている。他大学では休学や退学を考えているという学生が増えているというアンケート結果が出ているが、本学では例年より低い状況にある。

△ 様々なチャネルで学生がアクセスして相談できるようになっているが、アクセスしてこない学生への支援が課題となるため、調査も一つの手段として検討していきたい。

## 2 次回日程（令和3年1月28日（木））

坂井学長から、次回日程の開催時刻については、改めて各委員のご都合を伺いたい旨の連絡があった。

以上